

インターンシップ及びコンサルティング・プロジェクト等助成金運用内規

平成25年6月19日 改正
国際・公共政策教育部教授会決定

(目的)

第1条 この内規は、一橋基金を原資として、インターンシップまたはコンサルティング・プロジェクト等活動を行なう国際・公共政策教育部所属学生に対して、インターンシップまたはコンサルティング・プロジェクト等を行なう際に必要となる費用の助成を行うに必要な事項を定めることを目的とする。

(インターンシップ及びコンサルティング・プロジェクト等助成金運用委員会)

第2条 前条の目的を達成するため、インターンシップ及びコンサルティング・プロジェクト等助成金運用委員会(以下「助成金運用委員会」という。)を置く。

2 助成金運用委員会は、次の委員等で構成する。

- (1) 運営委員
- (2) インターンシップ及びコンサルティング・プロジェクト等科目担当教員
- (3) その他、助成金運用委員会が特に指定した者

(助成対象)

第3条 助成の対象は、次のいずれかの科目を履修し、その単位取得要件を満たす者について行うものとする。

- (1) コンサルティング・プロジェクト指導Ⅰ
- (2) コンサルティング・プロジェクト指導Ⅱ
- (3) インターンシップⅠ
- (4) インターンシップⅡ
- (5) 海外調査
- (6) その他、助成金運用委員会が特に認めた科目

(助成費目)

第4条 助成は、以下の費目を対象とする。

- (1) 旅費・交通費
- (2) 宿泊費
- (3) 海外旅行保険
- (4) 学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険
- (5) その他、助成金運用委員会が適切と認める費目

(申請手続)

第5条 助成金を受けようとする者は、所定の期限までに、必要書類を添えて申請書(別記様式第1号)を助成金運用委員会に提出しなければならない。

(実績報告書)

第6条 前条により申請を行った者は、インターンシップまたはコンサルティング・プロジェクト等の活動が完了したときは、所定の期限までに、必要書類を添えて実績報告書（別記様式第2号）を助成金運用委員会に提出しなければならない。

2 前項に規定する実績報告書に添付する成果報告書は表紙（別記様式第3号）を添付のうえ担当教員が確認し、国際・公共政策大学院ホームページまたはその他の方法により公表するものとする。

(助成額)

第7条 助成対象者及び助成額の決定については、助成金運用委員会がこれを行い、本教育部教授会に報告するものとする。

2 助成額は、原則として1件のインターンシップ等における所要額（助成申請額）が合計5千円を超える場合に支給できるものとする。

3 1人に対する助成上限額は、国内での活動の場合は原則5万円、海外渡航が含まれる場合は原則25万円とする。ただし、助成金運用委員会が特に必要と認めた場合は、予算の範囲内で、その上限を超えて助成することができる。

4 他からの助成（補助）金等がある場合は、助成額からこれを控除した額を支給する。

5 助成額は、概算払または精算払により支給する。ただし、概算払は助成金運用委員会が特に必要と認めた場合に限る。

(精算手続)

第8条 前条第5項の規定により 概算払に係る助成金の支給を受けた者は、所定の期間内に、必要書類を添えて助成金の精算をしなければならない。

2 助成金運用委員会は、前項の規定による精算の結果、過払金があつた場合には当該過払金を、又、第3条に定める科目の単位が不認定となった場合には全額を、所定の期間内に返納させなければならない。

(雑則)

第9条 この内規に定めるもののほか、インターンシップ及びコンサルティング・プロジェクト等助成金の運用に関するその他必要な事項は、助成金運用委員会が決定し、本教育部教授会に報告を行うものとする。

附 則

この内規は、平成25年10月1日から施行する。

平成 年 月 日

インターンシップ及びコンサルティング・プロジェクト等助成金申請書

助成金運用委員会 殿

一橋大学大学院国際・公共政策教育部専門職学位課程
.....年度入学 学籍番号.....
所属プログラム名：.....
申請する助成対象科目名：.....
氏名 印

インターンシップまたはコンサルティング・プロジェクト助成金の申請を下記の通り行います。

1：活動内容等

事項	内容			
(1) 種別	インターンシップ ・ コンサルティング ・ 海外調査 ・ その他の科目			
(2) 国内・国外	国内 ・ 国外			
(3) 受入機関				
(4) 受入期間				
(5) 受入機関からの 資金提供の有無※	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	※有の場合	費目：	金額：

2：助成金の対象と考えられる内容及び積算内訳

費目	内容	積算内訳
(1) 旅費・交通費 (経路明記)		
(2) 宿泊費 (宿泊先・日数)		
(3) 海外旅行保険		
(4) 学研災付帯賠償 責任保険		
(5) その他		
他から受ける 助成(補助)金等	(該当する場合のみ記入)	(該当する場合のみ記入)

※ 「他からの助成(補助)金等」とは、公的機関等からの助成金などを示す。

○必要書類

1. 見積書等
2. 実施計画書
3. 送金依頼書

(担当教員記入欄)

上記申請書及び実施計画書を確認しました。

担当教員氏名

印

平成 年 月 日

インターンシップ及びコンサルティング・プロジェクト等助成金実績報告書

助成金運用委員会 殿

一橋大学大学院国際・公共政策教育部専門職学位課程
.....年度入学 学籍番号.....
所属プログラム名:.....
申請した助成対象科目名:.....
氏名印

下記の通り、インターンシップまたはコンサルティング・プロジェクト等の活動実績を報告します。

1: 活動内容等

事項	内容
(1) 種別	インターンシップ ・ コンサルティング ・ 海外調査 ・ その他の科目
(2) 国内・国外	国内 ・ 国外
(3) 受入機関	
(4) 受入期間	

2: 助成金の対象と考えられる内容及び金額

費目	内容・内訳	金額
(1) 旅費・交通費 (経路明記)		
(2) 宿泊費 (宿泊先・日数)		
(3) 海外旅行保険		
(4) 学研災付帯賠償 責任保険		
(5) その他		
他から受けた 助成(補助)金等		

※「他から受けた助成(補助)金」等がある場合は、これらの額等を証明する書類を添付すること。

○必要書類

1. 領収書等
2. 成果報告書(平成26年2月末日までに提出すること)

平成 年度

インターンシップ及びコンサルティング・プロジェクト等

成果報告書(表紙)

一橋大学大学院国際・公共政策教育部専門職学位課程

.....年度入学 学籍番号.....

プログラム名:

氏 名

(担当教員記入欄)

本成果報告書をもって当該プログラムの実施
を確認しました。

担当教員.....印